LIXIL　ジャンボD3型アルミ　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付をしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

門扉は人や車が出入りするためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので設置の場所・目的に合わせて選択してください。

■施工上のご注意

- 商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。
- 扉走行床面は水平に仕上げてください。
- 電装商品の場合は配線工事を有資格の専門業者にご依頼ください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行い、不具合が無いか確認してください。

■使用上のご注意

製品の破損等により身体に損傷等のおそれがありますので、以下の使い方を守ってください。

- 錠の付いている商品は、通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に下ろしてください。
- 開閉の時は必ず落とし棒を上げてから操作してください。
- 開閉時には手足・衣服等を挟まないよう、注意してください。また、人・物等の障害物が無い事を確認してください。
- 扉の上に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

梱包明細表

1 本体セット

	名　　称	360	490
	本体360	1	ー
	本体490	ー	1
部品セット1	連結金具	8	8
	連結金具固定スタットボルト　M8×50	16	16
	六角袋ナット　M8	32	32
	バネ座金　M8	32	32
部品セット2	キャスターカバー	6	8
	キャスターカバー取付ネジ　M4×12（ナベセムス）	6	8
	サロンストッパー埋込金具	1	1

2 レールセット

	名　　称	360	490
	レールL＝1,750m／m	2セット	ー
	レールL＝2,400m／m	ー	2セット
部品セット	レール連結用六角ボルト　M8×16	4	4
	柱取付用六角ボルト　M8×80	4	4
	六角ナット　M8	8	8
	平座金　M8	8	8
	アンカーボルト（ナット付）W1／4×100	8	8

3 レールスペーサーセット

名　　称	員数
スペーサー	4
柱取付用六角ボルト　M8×100	4
六角ナット　M8	4
平座金　M8	4

※レールタイプ時はレールスペーサーセットを1セット使用します。

4 柱セット

名　　称	片開柱	両開柱
ガイド柱（掛）	1	1
ガイド柱（受）	ー	1
戸当柱	1	ー
吊元柱	1	2

4 つづき

	名　　称	片開柱	両開柱
部品セット	柱取付金具A	4	8
	柱取付金具B	4	8
	柱取付金具用スタットボルト　M8×66	8	16
	柱取付金具用スタットボルト　M8×50	8	16
	六角袋ナット　M8	32	64
	バネ座金　M8	32	64
	アンカーピン　φ9×200	4	4
	サロンストッパー埋込金具	1	2
	取付説明書	1	1
	取扱説明書	1	1

5 転倒防止レールセット

	名　　称	360	490
	レールL＝1,750m／m	4	ー
	レールL＝2,400m／m	ー	4
	レール枕木	6	6
部品セット	レール枕木固定ネジ　M5×12（ナベセムス）	12	12
	柱取付用六角ボルト　M8×80	4	4
	レール連結用六角ボルト　M8×20	4	4
	六角ナット　M8	8	8
	平座金　M8	8	8
	アンカーボルト（ナット付）　W1／4×100	8	8

6 転倒防止金具セット

名　　称	360	490
転倒防止金具	6	8
金具取付用ネジ　M6×12（ナベセムス）	12	16

7 水抜き部品セット

名　　称	員数
水抜き部品	2
水抜き部品取付ネジ　M6×12（ナベセムス）	4

※転倒防止レール時は転倒防止レール用水抜き部品セットを1セット使用します。

型式一覧表

セット型式			商品寸法（m/m）					梱包数							
			全幅	レールタイプ開口幅	ノンレールタイプ開口幅	たたみ幅		本体		柱		レール		転倒防止金具セット	
								360	490	片開柱	両開柱	360	490	360	490
片開き	360S	◎	3,670	3,081	3,081	529		1	ー	1	ー	1	ー	1	ー
	490S	◎	4,970	4,246	4,246	664		ー	1	1	ー	ー	1	ー	1
	710S	◎	7,170	6,161	6,161	949		2	ー	1	ー	2	ー	2	ー
	840S	◎	8,470	7,326	7,326	1,084		1	1	1	ー	1	1	1	1
	970S	◎	9,770	8,491	8,491	1,219		ー	2	1	ー	ー	2	ー	2
	1060S		10,670	9,241	ー	1,369		3	ー	1	ー	3	ー	3	ー
	1190S		11,970	10,406	ー	1,504		2	1	1	ー	2	1	2	1
	1320S		13,270	11,571	ー	1,639		1	2	1	ー	1	2	1	2
	1450S		14,570	12,736	ー	1,774		ー	3	1	ー	ー	3	ー	3
両開き	720W	◎	7,170	6,112	6,112	529	529	2	ー	ー	1	2	ー	2	ー
	980W	◎	9,770	8,442	8,442	664	664	ー	2	ー	1	ー	2	ー	2
	1420W	◎	14,170	12,272	12,272	949	949	4	ー	ー	1	4	ー	4	ー
	1680W	◎	16,770	14,602	14,602	1,084	1,084	2	2	ー	1	2	2	2	2
	1940W	◎	19,370	16,932	16,932	1,219	1,219	ー	4	ー	1	ー	4	ー	4

※ ◎はノンレール直進仕様が可能です。
※ 転倒防止金具セットは転倒防止レールタイプの場合のみ使用します。

1. 施工寸法図

1-1 転倒防止レールタイプ

（1）両開き

A寸法
1600
1450
1300

（2）片開き

A寸法
1600
1450
1300

D028_200705I

1-2 レールタイプ

（1）両開き

A寸法
1600
1450
1300

（2）片開き

A寸法
1600
1450
1300

1-3 ノンレールタイプ

(1)両開き

A寸法
1600
1450
1300

(2)片開き

A寸法
1600
1450
1300

D028_200705I

2. レールの連結

2-1 転倒防止レールタイプの場合

（1）レールの組付け

＜注意＞
- レール両端部に取付ける枕木の向きに注意してください。

（2）レールの連結

＜注意＞
- 吊元柱とレール、戸当り柱とレールの間には、水抜き部品を取付けてください。

＜注意＞
- 柱にはレール位置シールが貼ってあります。転倒防止レールタイプの場合は、下の穴を使用してください。

レール位置シール

＜注意＞
- 連結はレール連結用六角ボルトによって行なってください。連結したレール間も水平になるよう充分に注意して施工してください。

2-2 レールタイプの場合

（1）レールの組付けおよび連結

＜注意＞

- 柱にはレール位置シールが貼ってあります。レールタイプの場合は、上の穴を使用してください。

レール位置シール

型式（片）	レール構成		型式（両）	レール構成	
360S	（1,750×２）	２本	720W	（1,750×４）	４本
490S	（2,400×２）	２本	980W	（2,400×４）	４本
710S	（1,750×４）	４本	1,420W	（1,750×８）	８本
840S	（1,750×２）＋（2,400×２）	４本	1,680W	（1,750×４）＋（2,400×４）	８本
970S	（2,400×４）	４本	1,940W	（2,400×８）	８本
1,060S	（1,750×６）	６本			
1,190S	（1,750×４）＋（2,400×２）	６本			
1,320S	（1,750×２）＋（2,400×４）	６本			
1,450S	（2,400×６）	６本			

3. レールタイプの柱およびレールの埋設

3-1 転倒防止レールタイプの場合

＜注意＞

- 吊元柱とレール、戸当り柱とレールの間には、水抜き部品を取付けてください。
- レールの内側にも充分モルタルを突き込んでください。
- レールは柱と直角にかつ G.L.と水平になるように充分注意してください。
- モルタル付着防止のため、水抜き部品内には、発砲スチロールが入っております。施工後に取りはずしてください。
- 水抜き部品より外部へ排水する溝を設けてください。
- 基礎を施工するときにサロンストッパー埋込金具の位置に埋込金具よりも大きめの穴を開けておくと、後の施工が容易になります。施工位置は 5.サロンストッパー埋込金具の標準施工寸法図 を参照してください。

D028_200705I

3. つづき

3-2 レールタイプの場合

＜注意＞

- レールの内側にも充分モルタルを突き込んでください。
- レールは柱と直角にかつ G.L.と水平になるように充分注意してください。
- 本体最大幅が616㎜あります。施工場に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 壁が隣接する場合、本体最大幅を確認の上、柱およびレールの埋設を行なってください。
- 柱の埋込みはレールのG.L.ラインに合わせてください。（G.L.ラインは柱埋込みシールより10mm下になります。）
- 柱取付用六角ボルトM8×100は、レールスペーサーセット同梱品を使用してください。
- 基礎を施工するときにサロンストッパー埋込金具の位置に埋込金具よりも大きめの穴を開けておくと、後の施工が容易になります。施工位置は 5.サロンストッパー埋込金具の標準施工寸法図 を参照してください。

4. ノンレールタイプの柱の埋設

＜注意＞

- 埋込シールの位置がキャスターの駆動面になる様モルタルを施工してください。
- 柱はG.L.に直角になる様充分注意してください。
- 壁が隣接する場合、本体最大幅を確認し、柱の埋設を行なってください。
- 基礎を施工するときにサロンストッパー埋込金具の位置に埋込金具よりも大きめの穴を開けておくと、後の施工が容易になります。施工位置は 5.サロンストッパー埋込金具の標準施工寸法図 を参照してください。

5. サロンストッパー埋込金具の標準施工寸法図

（1）片開き

（2）両開き

（3）サロンストッパー埋込金具の施工位置

＜注意＞

- 転倒防止レールタイプの場合水抜き部品と干渉するため、片開きの戸当り柱側にはサロンストッパー埋込金具を施工しないでください。
- サロンストッパー埋込金具の最終的な位置決めは 9.サロンストッパー埋込金具の位置決めとサロンストッパーの上下調整および使用方法 にしたがってください。

6. ガイド柱～本体～柱の連結

❶ガイド柱、本体、吊元柱をそれぞれ連結金具、柱取付金具A・Bを使用して連結してください。

A部詳細図

B部詳細図

D028_200705I

7. 把手および錠の左右勝手取換方法

＜注意＞

●左引きの場合は、把手および錠を取付けてあるサラ小ネジをはずし、把手および錠掛金を左右に入れ替えてください。

8. キャスター部の取付け

8-1 転倒防止レールタイプの場合

❶門扉本体のキャスターに転倒防止金具をM6×12（ナベセムス）で取付けてください。

❷キャスターカバーをM4×12（ナベセムス）で取付けてください。

8-2 レールタイプおよび ノンレールタイプの場合

❶キャスターカバーをM4×12（ナベセムス）で取付けてください。

D028_200501H

9. サロンストッパー埋込金具の位置決めとサロンストッパーの上下調整および使用方法

※本体施工後、サロンストッパー埋込金具を現物合わせで位置決めして、埋込んでください。
※レール仕様の場合、伸縮時に本体と埋込金具が当たらないように注意して埋込んでください。

9-1 上下調整方法

❶プッシュボタンを押し下げてストッパーの円板部が埋込金具に掛かる様ネジ部にて調整してください。

9-2 使用方法

❶プッシュボタンを押し下げたままの状態にてキャスター部を前進させ埋込金具に掛けてください。

取説コード
D028
DSD604465D
HF-A①
201607L_1049